

平成28年度 《学校経営計画》

名張市立蔵持小学校

学校長 谷口 雅彦

1 学校教育目標

「しあわせ」の学校をつくる —主体的に学び、行動できる子どもを育てる—

2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	◎子どもたちが学校に行くことを楽しみにする学校 ◎教職員が働く喜びを実感できる学校 ◎保護者・地域に信頼される学校		
○児童像	し：しっばいをのりこえる人になる あ：あいさつができる人になる わ：わたしもあなたも大切に人になる せ：せかいに目をむける人になる	しんげんに取り組む人になる あした、したいことがある人になる わかろうと努力する人になる せきにんをもってやりぬく人になる	
○教職員像	(1) 子どもに対する愛情や責任感を持つ教職員 (2) 常に学び続ける向上心と、改善に努める教職員 (3) 教育の専門家としての確かな力量と豊かな人間性を持つ教職員 (4) 互いに支えあい、認め合い、組織的に取り組む教職員 (5) 保護者や地域住民の期待に応え信頼される教職員		
○保護者・地域像	(1) 学校と連携して子どもを育てる保護者 (2) 学校と連携することで、教育効果を高める地域		

3 学校の現状

本年度の改善方策

	児童	教職員	保護者・地域	
強み	<ul style="list-style-type: none"> 友達や先生の話をしっかり聞くことができる。 係活動や清掃活動等一生懸命に取り組むことができる。 素直で前向きに活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 助け合える、話を聞く姿勢がある。 前例にとらわれることなく、新たな発想を活かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育活動を支援してくれる保護者・地域、ボランティアの活躍がある。 地域で育てる意識の共有が広がった。 	○学校教育目標の具現化にむけ、各学年や分掌毎の取組を具体化させるとともに、教職員が一致協力して、組織的・計画的な学校経営、学年・学級経営を進める。 ○ 学ぶことの楽しさや達成感を味わわせ、自ら学び・行動できる力を養う。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢をさらに身につける。 自分からあいさつする習慣を身に付ける。 自信をもって思いを伝える力を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生きる力」の育成を見据えた授業力の向上を目指す。 チーム力で仕事をやる意識を高揚させる。 9年の育ちを見据えた実践を推進する。(「あじきかそ」運動の推進・徹底) 	<ul style="list-style-type: none"> つながりのさらなる拡大や深まり、地域での子どもの育成に向けた取組の発信を充実させる。 協働による子ども支援の取組の充実と、連携の強化を図る。 	○ 自他のよさを認め合い、思いやりのある豊かな心を育む教育を推進する。 ○ 小中連携を進めるとともに、保護者・地域との連携を深め、地域と共に歩む学校づくりを推進する。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		26	27	28	29	30
1	「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させる授業、魅力ある教育活動を展開する。			○	○	○
2	全教職員が学校経営に参画し、組織としての力を向上させる取組を充実させる。	○	○	○		
3	家庭・地域と連携し、相互理解を深めるとともに、信頼される開かれた学校づくりを進める。			○	○	○

5 平成28年度の重点目標

重点的な取組事項－1	「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させる授業、魅力ある教育活動を展開する。
A 今年度の成果目標	
①学校へ行くのが楽しいと感じている児童の割合…80%(児童アンケートによる)	
②授業がわかりやすいと感じている児童の割合…85%(児童アンケートによる)	
③子どもたちに「学ぶ喜び・わかる楽しさ」を体感させるような授業づくりに心がけている教員の割合…85%(教職員アンケートによる)	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	毎日の子どもたちの表情や行動観察、さらには友だち関係等を詳細に把握するとともに、面談や日記等、子どもたちからの思いを受け止められる取組を充実させる。
②	全国学力・学習状況調査やみえスタディチェックの結果から、本校児童の強み弱みを分析し、強みの更なる向上を図るとともに、弱みの克服に向けた具体的な取組を、すべての教職員で取り組む。
③	それぞれの教員の取組を情報交換するとともに、アクティブ・ラーニングなどの学習方法や、意欲・興味関心がわく学習活動など、子どもたちの実態を踏まえた積極的な授業改善を進める。

重点的な取組事項－2	全教職員が学校経営に参画し、組織としての力を向上させる取組を展開する。
A 今年度の成果目標	
①「しあわせ」の学校づくりの実現に向けた、具体的な取組を展開していると感じている教職員の割合…85%(教職員アンケートによる)	
②子どもたちが「居心地がよく、安心できる学校・学級環境」を整えるための取組を、全教職員で充実させる。	
③教職員が働く喜びを実感できるよう「相互理解」と「連携協力」のもと、明るく健全な職場づくりに取り組む。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	全教職員の学校経営参画意識を高め、みんなで「しあわせ」の学校づくりの実現に向けた具体的な取組を話し合い(年2回)、実践できるようにする。
②	課題を抱える子どものことについて、また、特別な支援が必要な子どもについて、全教職員で共通した指導・支援ができるような教育活動・教育環境を充実させる。
③	管理職が定期的な面談だけでなく、日頃から職員との話し合いを心がけ、特に、悩みを抱えている教職員と重点的にかかわり、教育課題の解決に向けた助言・指導を行う。

重点的な取組事項－3	家庭・地域と連携し、相互理解を深めるとともに、信頼される開かれた学校づくりを展開する。
A 今年度の成果目標	
①学校の教育活動等に対して満足している保護者の割合…85%(保護者アンケートによる)	
②学校生活において子どもの成長を感じている保護者の割合…85%(保護者アンケートによる)	
③学校支援ボランティア等、家庭・地域の方々の協力を得て、学習活動が充実したと感じている教職員の割合…85%(教職員アンケートによる)	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	子どもたちの学習活動や生活状況、さらには全国学力・学習状況調査等の結果を、日々の保護者連絡だけでなく、学校だよりや個別懇談等で情報提供し、保護者と連携した取組を充実させる。
②	ウェルカムデー(学校開放デー)などを充実させ、保護者に学校へ足を運んでもらい、学校での子どもたちの様子を見ていただく機会や、学校の様子を発信する機会を充実する。
③	教科の年間指導計画等の中で、授業に学校支援ボランティアをはじめ、家庭・地域の方々に積極的に参画いただく機会を増やす。

